

大人になった自閉スペクトラム症者の姿と 彼らが必要としてきた支援を知るために



成年期を迎えた たんぽぽの 子どもたち

視覚支援で始まる親子のコミュニケーション②



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

創立25周年記念誌

成年期を迎えた たんぽぽの 子どもたち

視覚支援で始まる親子のコミュニケーション②

 NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

ご購入はAmazonまたは
たんぽぽホームページ内
購入フォームにて



<https://npotanpopo.jimdofree.com/>

A4版74ページ

ISBN978-4-600-006617-7

定価 本体**1,800円**

- NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽについて
- 用語解説
- 生活介護型事業所さくら工房
- 親子療育教室たんぽぽクラブ
- 家庭での実践
- 1. 身辺自立 2. コミュニケーション 3. 自己理解 4. 進路
- 5. 成人期の生活〈仕事編〉〈余暇編〉〈暮らし編〉
- 家族の想い・支援者の想い

前著「自閉症児のための視覚支援から始まる親子のコミュニケーション」から15年。自閉症という障害を取り巻く環境が変わる中、障害特性の理解の上で、個々に合った支援を受けながら育ててきた“たんぽぽの子どもたち”は成年期を迎えました。それぞれに培ってきた力を基に、様々な自分にあった進路を選び、ひとりひとりが自分らしく自信を持って地域で暮らしています。その姿を知っていただくとともに、いま必要として
いる支援や今後の課題を記しています。

また、本人たちと同じ時間を過ごし、いろいろな思いをともにしてきたお父さん、おばあさん、きょうだいたちからも寄稿していただきました。

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8 ☎575-3796 open:月・火・木・金(祝日除く) 10時~14時

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ について

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは、1996年(H.8)6月に数名の親が集まっての学習会から始まりました。

知的障害とは違う、自閉症の特性を持つ子どもたちが多くの良い経験を積み、障害特性をより多くの人たちに理解してもらおうこと、そして何よりも親が我が子の最良の援助者であることを目指して活動を開始しました。

「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で活き活きと暮らせる滋賀」を目指して活動しています。

自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。